

## 届けよう！私たちの心

～交流を重ねることを通して～

八幡小学校では、「思いやりの心を持ち、力を合わせて仲間や地域社会と共に生きる子の育成」を目標に福祉活動に取り組んでいます。今年度は、交流している相手の紹介をしたり、交流活動を何度も行ったりすることなどを通して、相手の顔が見える福祉活動になるように考えました。活動のなかで、人と人の心のふれあいがあるようにと願っています。

## 福祉施設の訪問



福祉施設では、たくさん笑顔が見られました

六年生は、総合的な学習の時間に「届けよう！私たちの心」をテーマに福祉活動に取り組みました。昨年度までは、いくつかの福祉施設を訪問していましたが、今年度はひとつの施設に絞り、繰り返し何度も訪ねるようにしました。児童は、いつも同じ方と交流を重ねるうち、相手がどんな方でどこが不自由なのか

よく分かり、相手を気遣った接し方ができるようになりました。また、入所されている方も、児童が訪ねたときには、普段は見られないような笑顔をしているという話を聞きました。お互いに知り合っていくなかで、心と心の結びつきが少しずつできてきたことが何よりもうれしいことでした。また、運動会やスクールフォーラムなどの学校行事に招待して、児童が元気よく活動する姿を見てもらうこともできました。

# 池田町立 八幡小学校 福祉活動

～福祉協力校の活動紹介～



入所者の方の名前も覚えてました

## まごころ弁当の手伝いと手紙

八幡公民館のボランティア団体「なのはな会」は、一人暮らしのお年寄りにお弁当を届ける活動をしています。八幡小では、そのお弁当に添える手紙を書くことが伝統になっています。昨年度より、六年生がお弁当づくりや配達の手伝いを始めました。今年度は、配達した時の様子を全校に話す機会を設けました。また、「なのはな会」の方にお願いで、お弁当を届けているお年寄りの写真をいただき、校内に掲示しました。自分の書いている手紙がどんな方に届いているのか知ること、今までよりも一層心のこもった手紙を書くことができるようになりました。

## ベルマーク活動を通して

八幡小児童会の奉仕委員会では、ベルマーク活動を行っています。昨年と一昨年度は、ベルマーク貯金のほとんど全額を使って、岩手県陸前高田市の気仙小中学校に暖房器具と洗濯機を贈りました。また、全校からのメッセージやひまわりの種も贈りました。気仙小からは、お礼の手紙とともに行事で元気よく活動する様子を写した写真を送っていただきました。八幡小の子たちは、贈った品物や思いがどんな子たちに届いているのか知ることができました。今年も、奉仕委員会のメンバーが八幡小学校を紹介する手紙を送りました。また、話し合いでは、ベルマーク貯金で八幡小で使うものを購入しつつ、今まで続けてきた気仙小への支援活動も行っていくと決めました。苦勞して仕分けしたベルマークの貯金を自分たちの学校のためだけに使わず、交流している相手の役に立てようとするところに困っている人たちの力になりたいという気持ちが根付いてきたと感じています。さらに、後期からは地域のの人にベルマーク活動に参加してもらうようお願いをしました。ベルマークがたくさん集まることはもちろん、地域の人と児童がふれあうきっかけになればということがねらいです。廃品回収のときに、ベルマークを渡してください。方とお話できたということも聞きました。「地域社会と共に生きる子の育成」につながっていくことを願っています。



奉仕委員会はベルマーク収集を児童集会で呼びかけました